

事項	小麦のうどんこ病に対するテブコナゾール水和剤（シルバキュアフロアブル）の無人ヘリコプター散布による防除法		
ねらい	小麦の作付拡大が進むなかで、病虫害防除の場面では省力・効率的防除が求められている。そこで、主要品種「ネバリゴシ」で発生が多いうどんこ病を対象に、省力・効率的防除として期待される無人ヘリコプター散布によるテブコナゾール水和剤（シルバキュアフロアブル）の防除効果を検討した。その結果、効果が認められ、これまで本防除法が県防除指針になかったので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 テブコナゾール水和剤の使用方法</p> <p>(1) 無人ヘリコプターにより本剤16倍液を10 a 当たり 0.8 ℓ 散布する。散布時期・回数は、止葉直下葉での発生直後の1回とする。</p> <p>2 テブコナゾール水和剤の農薬登録内容</p> <p>(1) 薬剤名等</p> <p>ア 一般名：テブコナゾール水和剤</p> <p>イ 商品名：シルバキュアフロアブル</p> <p>ウ 有効成分：テブコナゾール 40.0%</p> <p>エ 人畜毒性：普通物</p> <p>オ 魚毒性：B類</p> <p>(2) 使用基準</p> <p>ア 登録年月：平成17年10月</p> <p>イ 適用病害：うどんこ病</p> <p>ウ 希釈倍数：16倍</p> <p>エ 散布液量：0.8 ℓ / 10 a</p> <p>オ 使用方法：無人ヘリコプターによる散布</p> <p>カ 使用時期：収穫14日前まで</p> <p>キ 使用回数：2回以内</p> <p>ク 成分総使用回数：テブコナゾールを含む農薬 2回以内</p>		
期待される効果	小麦のうどんこ病の被害が軽減され、安定生産に寄与する。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成19年3月1日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)を確認すること。</p> <p>3 あぶらな科野菜（特に、はくさい、だいこん）に対して薬害を生じる恐れがあるので、付近で栽培されている場合には特に注意する。</p> <p>4 使用上の留意事項を遵守する。</p>		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター 病虫害防除室 (岩間俊太)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成18年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 小麦のうどんこ病に対するシルバキュアフロアブルの無人ヘリコプター散布による防除効果
(平成18年 青森農林総研)

供試薬剤名	希釈倍数 ・散布量	止葉を含む上位2葉					薬害
		5月24日調査		6月9日調査			
		発病葉率(%)	病斑面積率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)	防除価	
シルバキュア フロアブル (無人ヘリ散布)	16倍 0.8ℓ/10a	6.0	0.06	52.0	0.75	85.9	—
シルバキュア フロアブル (地上散布)	2,000倍 150ℓ/10a	1.3	0.01	1.3	0.01	99.8	—
無散布	—	6.0	0.06	100	5.33		

(注) 試験場所：青森農林総研境松北部圃場 品種：ネバリゴシ 播種日：平成17年9月27、28日
散布日：5月25日、6月2日（無人ヘリ散布）または5月25日、6月1日（地上散布）
発生状況：中発生（止葉直下葉での発生確認は5月24日）

表2 小麦のうどんこ病に対するシルバキュアフロアブルの無人ヘリコプター散布による防除効果
(平成16年 北海道植防)

供試薬剤名	希釈倍数 ・散布量	6月15日調査						薬害
		止葉直下葉			止葉			
		発病葉率(%)	発病度	防除価	発病葉率(%)	発病度	防除価	
シルバキュア フロアブル (無人ヘリ散布)	16倍 0.8ℓ/10a	0	0	100	0	0	100	—
シルバキュア フロアブル (地上散布)	2,000倍 100ℓ/10a	0	0	100	0	0	100	—
無散布	—	100	38.0		18.7	4.7		

(注) 試験場所：空知郡北村（農家圃場） 品種：春よ恋 播種日：平成15年11月13日（初冬播き）
散布日：6月1日、6月8日 発生状況：中発生

(参考価格) シルバキュアフロアブル 3,300円前後/250ml、16倍散布で約660円/0.8ℓ/10a